



2022-2023 年度
8月号
NO. 395

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

戦略2023

国際会長：K・C・サミュエル(インド)「フェローシップとインパクトで次の100年へ」
アジア太平洋地域会長：チェン・チン・ミン(台湾)「新しい未来と共に、エレガントに変化を」
東日本区理事：佐藤重良(甲府 21) 主題:「未来に向けて今すぐ行動しよう」
関東東部部長：工藤大丈(東京 〆 付付) 主題:「新規技術を縦横に駆使し、効率を重んじる」
東京ひがしクラブ会長：千代一郎 主題「楽しさをベースに、持続可能なワイズ!!!」

8月例会(納涼)

と き 2021年8月11日(木)
19:00~21:00
※ZOOMによるリモート納涼例会

司会 鮎澤正和

★プログラム

開会挨拶 会長 千代一郎
トークタイム&お楽しみタイム
(食べながら飲みながら自由に！)
今月の誕生日・結婚記念日
各種報告
閉会挨拶 会長 千代一郎

★今月の誕生日

竹内 聡メン (29日)
今井 爽子ネット (10日)
須田由美子ネット (22日)



7月例会(総会)

7月例会(総会)は、7月14日(木)東陽町センターYMCAホールに於いて、万全な感染防止対策の中定刻の18時30分金丸書記の司会で開会。久しぶりのワイズソングを歌い、緊張気味の千代会長挨拶のあと食前の感謝で食事と進み、7月誕生日と結婚記念日を祝い総会議事に移った。高野直前会長より2021-2022年度の活動報告。須田会計による決算報告とファンド報告が行われ拍手にて承認された。続いて2022-2023年度の活動方針が千代会長より発表された。主題は「楽しさをベースに、持続可能なワイズ！」前年度のSDGs(持続可能な開発目標)を引き継ぎ活動。「下町子どもダイニング」もSDGsにしっかりと繋がっている。そして、ひがしクラブの基盤である「楽しさ」をベースに、CS活動(ピースウォーク、フードパントリー等)を更に強気に推進していきたいと力強く今期の抱負が述べられ、続いて須田会計より今期の予算が提案され全員賛成で承認された。最後にスマイルと各種報告で閉会した。



🕊 今月の聖句 🕊

『だから、何事でも人々からしてほしいと望むとは、人々にもそのとおりにせよ。これが律法であり預言者である。』

—マタイによる福音書第7章12節—

7月例会

出席者 8名 ビジター 名
会員出席数 7名 ゲスト 1名
在籍数 12名
(広義会員2名)

ひがし会員出席率 70%

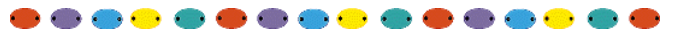
スマイル

2022-2023年度
7月 17,000 円

2022-2023 年度役員

会長 千代一郎
副会長 金丸満雄
書記 金丸満雄
会計 須田哲史
担当主事 沖 利柯

2022-2023年度関東東部第1回評議会



担当主事 沖 利柯

7月23日(土)9時30分、第1回評議会がZoomによるリモート開催された。の藤原書記の司会で開会。最初に、部長引継式が行われ、大澤和子直前部長より工藤大丈部長へのリモート引継式が行われ、第1回評議会のプログラムがスタートした。工藤部長挨拶と方針が述べられ、「新規技術(テクノロジー)を縦横に駆使し効率を重んじる。すべてはプレミアムな価値と体験を産むために」を主題として、アフターコロナに対応した、デジタルとリアルを併用した形の部運営を行う等、新しいスタイルの活動方針が述べられた。続いて各事業主査、各クラブ会長より主題と活動計画が発表された。議案審議は第1号:2021-2022年度会計決算、監査報告、第2号:2021-2022年度予算案、第3号:関東東部部活動改善検討委員会発足の件以上3件の議案が審議され承認された。最後に、書記並びに会計よりの連絡事項で第1回評議会は、スムーズに進行され11時に終了した。

(出席者総数:34名/ひがし出席者:千代、金丸、沖)



CS・Yサ活動 須田哲史

★下町こどもダイニング:7月11日(月)

今月のメニューは、挽肉たっぷりミートスパゲッティ、私たちのミニ農園や食材提供してくれているエスコファームの手作りトマト&野菜一杯のサラダ、ほうれん草たっぷりの卵スープ、デザートはサイダー味のナタデココ入りフルーツポンチとジュースでした。

食材提供いただいたエスコファームの皆さんからは、秋冬に向けて、芽キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、栗カボチャ等々、チャレンジしてくださっていると。料理班もその期待に応えなきゃなりません。みんながハッピーになるダイニングで、いきましょう!



★フード・パントリー:7月17日(日)

たくさんの食材や飲料、お菓子、日用品が寄付され、江東区で、こども食堂に携わっている各団体を通して、それぞれの家族構成に合わせて配分、希望世帯に配らせていただきました。夏休みを迎える前に、配布したいということで、皆さん、一生懸命、たくさんの段ボール箱開け、食材他の分類、消費期限チェック、家庭別の配布物の確認、袋詰め作業をYMCAホールで行いました。

今回は、運搬のお手伝いで、亀戸ふれあいセンターに、お届けしましたが、他のこども食堂の活動を、お聞きすることもでき、色々と勉強することができました。



▼ウクライナ緊急支援募金 中間報告

2022年3月に開始したウクライナ緊急支援募金は、7月23日現在、10,593,797円が寄せられています。ウクライナYMCA、日本YMCA同盟、ヨーロッパYMCA同盟等を通じて、ヨーロッパ近隣諸国や日本で避難生活を送るウクライナの人々を支援するための活動に用います。また、ウクライナの人々を励ますために、ウクライナYMCAのViktor Serbulov 総主事に、東京YMCAスタッフ有志が作成したビデオメッセージを送りました。今後東京YMCAの子どもたちからのメッセージ動画も送る予定です。

▼第36回インターナショナルチャリティーラン

障がいのある子どもたちの支援を目的として、今回もアプリを活用したウォーキングイベントとして開催致します。

【個人参加】

10月15日(土)~22日(土)8日間/一人2,000円

【チーム参加】

10月22日(土)~30日(日)9日間

*東陽町コミュニティーセンターチームの一員として参加ご希望の方はお申し出ください。

*詳細は東京YMCAのHPにアップされておりますので、一度覗いてみてください。

▼東陽町コミュニティーセンター夏期休館

8月10日(水)~8月14日(日)



The 36th TOKYO YMCA International Charity Run 2022

第36回 東京YMCA
インターナショナル・チャリティーラン 2022

今年も【オンライン】開催

●らくらくウォーク

10月15日(土)~10月22日(土)
(個人参加)

●チームレース

10月22日(土)~10月30日(日)
(チーム参加)



詳しい要項は裏面を確認下さい

~私たちは障がいのある子どもたちを応援しています~

今年9月に実施している障がい児支援を目的とした慰労大会「東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン」は、36回目となる今年も新型コロナウイルス感染症の感染が見えないため、皆さんにそれをのぞいていただく機会をカウントダウンとして開催いたします。今年のウォーキングが生活気配につながります。どんなにでも、どこからでも参加いただけます。どうぞ障がいのある子どもたちの笑顔をお願いながら、月にこの社会を歩んでください。

【東京YMCA障がい児・者プログラム紹介】URL=><http://tokyo.ymca.or.jp/shougai/>

主催: 公益財団法人東京YMCA 東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン実行委員会
共催: 一般社団法人ソイズメンズクラブ協議会東日本区 希京ワイズメンズクラブ
公益財団法人日本YMCA同盟
金町後援: 内閣府 厚生労働省 スポーツ庁 社会福祉法人 全国障害者協議会

アシソナル・スポンサー:  Mitsubishi Corporation

ブライズ・スポンサー: マル・インターアシソナル株式会社 デザントジャパン株式会社
オーアニング・スポンサー: 特約印刷株式会社アンリッシュ・ポテンシャル
後援: 東京都 江東区

公益財団法人東京YMCA インターナショナル・チャリティーラン事務局(東京YMCA会員部)

T 03-6631 東京区44-2-18 2F-18 Tel 03-6778-5671 Fax 03-6278-9077 kalin@tokyoymca.org

<http://tokyo.ymca.or.jp/support/charityrun.html>

